

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49 (18)	以前に比べ、日々の散歩等が減っている。ホーム内で過ごす機会が多く、カラオケを楽しむ機会が増え、ホーム内の歩行訓練等は継続されているが、今後も気候や体調などに配慮しながら、ホームの外に出る機会(散歩)を増やしていく予定である。	日々の生活でホーム内で過ごされる割合が以前に比べ多くなっています。カラオケを楽しまれたり、体操後の歩行訓練等は継続していますが、気候や体調を考慮しながら、年間行事に加え外に出て散歩をする機会を増やしていきます。	まずは、5分から10分程度の散歩から徐々に始めて行きます。段々と散歩が日常生活の中に溶け込んで行くように週に2日から3日へと増やしていければと考えています。また、利用者様全員が、参加意欲を掻き立てられるようにお散歩カレンダーを作り取り組んでいきたいと考えております。	12 ヶ月
2	35 (13)	自動通報になったことで、マニュアルの改訂を行うと共に、変更内容に応じた訓練を行う予定である。防災計画も作成しており、今後は更に地域に応じた災害に対応できるマニュアルにしていくと共に、ご利用者個々の持ち出しリストなどを追記していく予定である。	今後は、消防・防災計画書の見直しと改定を行うと共に、変更の内容に応じた訓練を行います。また、今後は地域防災に対応できるマニュアルにして行けるよう訓練とマニュアルの変更を随時行って行き、利用者様の個々の持ち出しリストアップを追記して取り組んで行きます。	今ある消防・防災計画書の見直しを行い、訓練に応じたマニュアルの変更を随時行うように、スタッフ会議や運営推進会議等での反映を行います。今後は地域防災に対し、もっとリアルなマニュアルと訓練に取り組み利用者様個々の災害時持ち出す物をリストアップするなど追記し取り組んで行きたいと考えています。	12 ヶ月
3	26 (10)	29年1月から担当職員を中心に生活暦、ADL、IADL等の情報収集をされている。今後も多職種連携の機会を増やし、リハビリ職の視点で更なるアセスメントをして頂き、短期目標に繋げていければと考えている。	今後は、担当職員を中心に多職種との連携の機会を増やし、リハビリ職の視点で更なるアセスメントをして頂き、短期目標に繋げて行きたいと考えています。	今後は、利用者様個々の生活機能の向上を目指し、真珠園療養所の理学療法士や作業療法士、言語聴覚士との連携の機会を作ります。また、市には加算の取り方などの助言を求め、リハビリ職の視点から更なるアセスメントをして頂き、短期目標に繋げて行けるよう努めていきます。	12 ヶ月
4	4 (3)	市の地域ケア会議などに参加しており、今度は地域の現状(地域の強さ)や課題(運転免許証の返納後の課題等)を運営推進会議で集約し、地域の中で必要なこと(物)や小さな解決策を地道に検討していきたいと考えている。	現状として、市の地域ケア会議などに参加しておりますが、今後はもっと身近な地域の現状(地域の強さ)や課題を知っていく為にも、地域の総会や行事(会議)等に積極的に参加して少しでも地域貢献に役立つ施設体制作りにも努めて参ります。	今後も地域ケア会議に参加協力します。また、施設の基本理念に基づき何が地域貢献できるか検討すると共に、運営推進会議の委員の皆様のご意見を伺いながら利用者様へのケアの質を高めていきたいと思っております。	12 ヶ月
5					ヶ月